

「分子生体応答セミナー」を開催

2014年7月4日

7月4日(金)にがん進展制御研究所棟4階会議室において、中国復旦大学上海がんセンター 李影奕准教授を迎え、「Pim-3 is a kinase responsible for arginine metabolism and a target of miR-33a in human pancreatic cancer」と題して、がん進展制御研究所分子生体応答セミナーを開催しました。李先生は、今年度の国際共同研究課題実施のため来日されており、この間の滞在を利用してセミナーを開催して頂きました。

セミナーでは、すい臓がん細胞でのmiR-33aによるPim-3発現調節機構とPim-3によるアルギニン代謝制御機構に関する、李先生の最近の研究成果について講演して頂きました。

セミナーには、所内外の研究者並びに大学院生ら三十数名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われ、とても有意義な講演会でした。



分子生体応答研究分野セミナー

日時：2014年7月4日(金)午後5時

場所：がん進展制御研究所・会議室(4階)

演者：李 影奕 博士

(復旦大学上海がんセンター・准教授)

演題名：

Pim-3 is a kinase responsible for arginine metabolism and a target of miR-33a in human pancreatic cancer

李博士は、本研究所で学位取得し、博士研究員としてセリン／スレオニン・キナーゼであるPim-3の研究に従事された後に、2009年に復旦大学・上海がんセンターへ移られました。中国帰国後もPim-3を中心とした研究を活発に行われています。今回本研究所の海外共同研究課題にて、2週間ほど本研究所に滞在されることを利用して、最近の研究成果についてお話ししていただく予定です。

司会： 向田 直史(分子生体応答)

内線 6735